



こうみょう 光明

心和寺月報 第69号

2025 11月

THE KOMYO

令和7年11月1日発行
(毎月1日発行)



法話

穏やかな人

葬儀の折、「穏やかな人でした」と語られることがあります。

その言葉には、派手な活躍や強い主張ではなく、静かなぬくもりのような人生への敬意が込められています。穏やかさとは、何も起こらない平穏ではなく、心に波が立ちながらも、他を傷つけず、優しさを選び取る力のことです。怒りや悲しみが湧いても、それを静かに受けとめ、言葉に慎みを持ち、周囲を和ませる——それが「穏やかな人」の真の姿でしょう。

仏教では「和顔愛語(わげんあいご)」という言葉があります。やさしい笑顔で人に接し、あたたかな言葉をかけること、それ自体が布施の一つと説かれています。どれほど豊かでも、怒りや苛立ちをまき散らせれば、人の心は離れていきます。しかし、穏やかな人のそばにいと、不思議と安心し、心がやわらぐものです。

穏やかであるということは、決して弱さではありません。

むしろ、どんな状況でも心を乱さず、人を思う余裕を保つ強さの証です。仏さまの教えに照らせば、それは「忍辱(にんにく)——苦しみを受け入れ、柔らかな心を失わない修行そのものでもあります。

私たちも日々の中で、すぐに言葉を荒げそうになる時、少し息を整え、相手の立場に思いを向けてみましょう。その小さな一歩が、やがて自分のまわりをも穏やかにし、心に仏の光をともし道となります。

余録

心を染める秋

木々が紅に染まり、風が静けさを運ぶ十一月。

自然は散りゆく中にも美しさを見せ、命の尊さを教えてくれます。

人の心もまた、移ろいの中で磨かれていくもの。

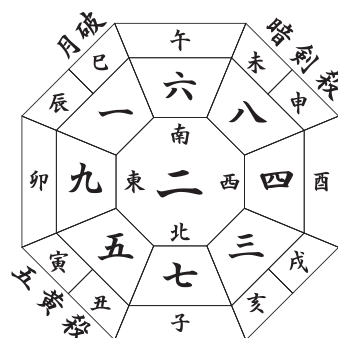
怒りや執着を手放すほどに、心は穏やかに澄み、まるで秋の空のようになります。

慌ただしい日々の中でこそ、立ち止まり、自らの心の色を見つめてみたい季節です。



11月の運勢

九星気学



詳しい運勢は、ホームページの「今月の運勢」をご覧ください。

祈願の申込み

祈願五〇〇〇円より
ネット申し込み可能です

月例行事の詳細情報

